

平成29年12月15日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部農林振興センター 浜田農業普及部	氏名	大西 まどか
派遣先 団体名	NPO法人 緑と水の連絡会議		
① 研修の日時 9月14日(木)、9月15日(金)、9月17日(日)、9月22日(金)、9月23日(土) 計5日間			
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 第22回国際ワークキャンプ(国内外青年によるボランティア合宿)及びみーもスクールの補佐として、以下の内容のスタッフ業務を研修として行う ・富山地区でのまちあるき、敬老会の開催 ・仁摩高校の生徒と木製ベンチの作成 ・水上地区の住民との交流(着付け、そば打ち体験) ・久手小クラブでの国際交流 ・中日に出店し、地域交流 ・地域交流青空カフェで地元の中高生との交流			
③ 研修の感想 (研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。) 研修を行うまでは、「NPO法人とはどんな活動をしているのか」、「国際ワークキャンプとは何なのか」全く知らない状態であったが、研修を通してNPO法人の地域との関わりや国際ワークキャンプが果たす役割について理解することが出来た。行政が入り込めない細かい部分の地域活動をしており、地域住民をはじめ、地元の高中生や小学生と様々な交流活動を行っており、住民との距離が近い組織であると感じた。 NPO法人は、その名の通り「非営利法人」であるので、殆どのスタッフは他で働きながら活動に参加していたが、苦にする様子はなく、非常に楽しそうなのが印象的であった。また、以前に国際ワークキャンプへ参加した方が気軽に遊びに来ていたり、久手小クラブでの国際交流ではスタッフの姿を見た瞬間に小学生が駆け寄ってきたりして、当NPO法人が地域住民から愛されていることが分かった。 この研修を通して、地域活動を行い、地域住民と実際に接し、現場の声を聞くことが、地域住民と行政の相互理解を深めるうえで重要であることが分かった。			
④ その他特記事項 (※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。) 特になし			

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成30年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。